

全国洪水保険制度

なぜ洪水保険 が必要なので すか？



FEMA





洪水保険のご紹介

洪水とは何ですか？

ほとんどの不動産は、たとえ水辺に近くなくても洪水の影響を受けやすいです。2013年から2023年の間に、全国洪水保険プログラム（NFIP、英語の略称）の保険金請求の3分の1が、現在の高リスク洪水地域外に位置する地域からのものでした。そのため、洪水リスクが低いまたは中程度の地域に住んでいる場合でも、洪水保険によって築いた生活を守ることが重要です。

NFIPが使用する洪水の公式定義は次の通りです：

1. 「通常乾燥している土地面積の2エーカー以上、または2つ以上の不動産（そのうち少なくとも1つがあなたの不動産）を、次の原因によって部分的または完全に水没させる、一般的かつ一時的な状態：
 - a. 内陸水域または潮汐水域の氾濫；
 - b. あらゆる源からの異常で急速な表面水の蓄積または流出；
 - c. 土砂流。^{*}
2. 湖や類似の水域の沿岸で、波や水流による浸食や基盤の崩壊が原因となり、予想される周期的な水位を超える水流によって土地が崩壊または沈下し、その結果、上記で定義された洪水が発生すること。」

^{*}土砂流は「通常乾燥している土地の表面で液体状の泥が流れる現象であり、地面が水流によって運ばれる場合のようなもの」と定義されます。地滑り、斜面崩壊、または土壌が飽和して液状化し、斜面を下る現象などの他の地球の動きは、土砂流には含まれません。」



なぜ洪水保険を購入するのか？

残念ながら、多くの不動産所有者は、自分の住宅保険が洪水をカバーしていないことに、手遅れになって初めて気づくことが多いです。NFIPは、あなたの最も重要な財産である自宅や事業を保護するための別個の保険を提供しています。



ご存知ですか？

連邦政府は、特別洪水危険区域 (SFHA、英語の略称) に位置する住宅が、連邦規制の貸し手によって保証されたローンの担保として分類されている場合、洪水保険で保護されることを要求しています。貸し手は、借り手の不動産がこれらの地域にある場合、契約締結前にこの要件を通知しなければなりません。洪水ゾーンについて詳しく知るには、[msc.fema.gov](https://www.msc.fema.gov) (英語のみ) にあるマップサービスセンターを訪れてください。

NFIP保険の詳細



NFIP建物保険

以下の項目は、建物保険でカバーされる一部の例です：

- 建物とその基礎；
- 未仕上げの床に永久に取り付けられたカーペット；
- 中央空調システム；
- 電気システム；
- 暖房装置およびラジエーター；
- レンジ、調理用コンロ、オーブン；
- 冷蔵庫；および
- 窓ブラインド。

完全なリストについては、あなたの保険契約書をご確認いただくか、保険代理店にお問い合わせください。





NFIP内容物保険

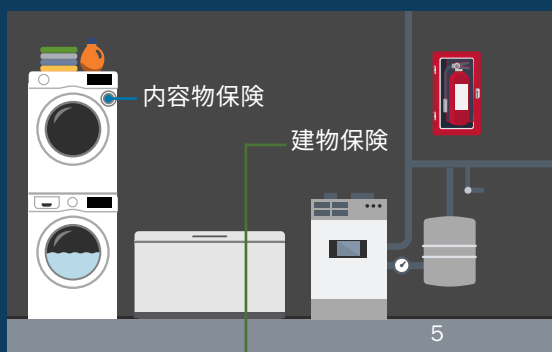
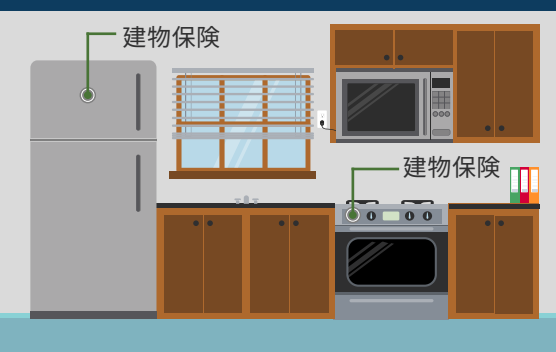
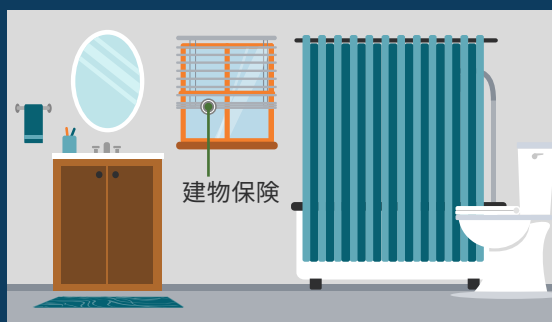
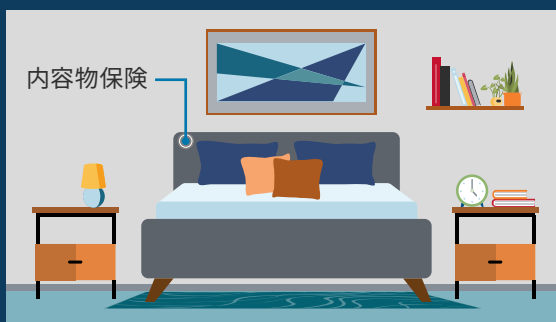
賃貸か所有かに関わらず、洪水保険の担当者に、個人財産を保護するための補償内容について必ず確認してください。建物保険に加えて、または単独で別途購入することができます。

内容物保険は通常、次のような項目をカバーします：

- 衣類、家具、電子機器などの個人所有物；
- カーペット；
- 洗濯機および乾燥機；
- 冷凍庫およびその中の食品；および
- ポータブルの電子レンジおよび食器洗い機。

もしあなたがテナントで、自費で改良を行った場合、それらは責任限度額の最大10%まで補償されます。

保険のすべてのカバレッジについては、契約書をご確認いただくか、保険代理店にご連絡ください。



NFIP保険の補償限度額

以下の不動産タイプについて、利用可能な最大保険金額まで洪水保険を購入することができます：

不動産 タイプ	建物保険	内容物保険
一戸建て住宅	\$250,000	\$100,000
住宅用モバイルハウス／製造住宅	\$250,000	\$100,000
住宅ビル内の住宅用コンドミニアムユニット	\$250,000	\$100,000
賃貸住宅（例：アパートメントユニット、賃貸一戸建て住宅など）	なし	\$100,000
非住宅用建物（例：オフィス、商業スペース、ホテル、コンドミニアムなど）	\$500,000	\$500,000
その他の非住宅用建物（例：礼拝所、ガレージ、学校、クラブハウス）	\$500,000	\$500,000

洪水保険と災害援助の違い

洪水が発生した場合、災害援助は制限されるか、利用できないことがあります。連邦災害援助は、大統領が災害を宣言した場合にのみ提供されます。しかし、連邦災害が宣言されなくても、洪水保険であなたの家はカバーされます。

連邦災害援助は2つの形態で提供されます：米國小規模ビジネス庁（SBA、英語の略称）のローンと、FEMAからの財政的支援または直接援助です。ローンは利子を付けて返済する必要があり、FEMAの援助は洪水によるすべての損失を補償することを目的としておらず、保険の代替として機能するものではありません。どちらの選択肢も個々のニーズに基づいた厳しい適格要件があり、多くの災害生存者は資格を得られない可能性があります。これに対して、洪水保険の請求は返済する必要がなく、2019年から2023年の平均で52,000ドルとなっています。

詳細については、fema.gov/assistance（英語のみ）または agents.floodsmart.gov/financial-recovery-flooding（英語のみ）をご覧ください。

購入するタイミング

洪水保険はいつでも購入できます。

通常、保険が適用されるまでに30日の待機期間がありますが、いくつかの例外があります。

- 最初に不動産のローンを確認、調整、または更新する際に洪水保険に加入した場合、待機期間はありません。保険の適用は、ローン契約が締結された時点で開始されます。
- 洪水マップの変更により新たに影響を受ける地域に住んでいる場合は、保険代理店と一緒にオプションを確認してください。
- さらに、あなたの不動産が地域の山火事による洪水被害を受けた場合、30日の待機期間は適用されないことがあります。詳細については、floodsmart.gov/policy-terms (英語のみ) をご覧ください。

これらの例外を考慮に入れて、保険なしで困ることがないように前もって計画を立てましょう。NFIPの保険契約は、保険が有効になる前に発生した洪水による損失はカバーしません。さらに、洪水が始まった後に保険のカバレッジを増やすことはできません。

できるだけ早く保険に加入しましょう。今日、保険会社に連絡して見積もりを取得するか、FEMA Mapping and Insurance eXchange (FMIX、英語の略称) に **(877) 336-2627** で連絡し、サポートを受けてください。



追加のガイダンスと連絡先情報

NFIP には、洪水保険のカバレッジを理解し、必要な情報にアクセスするための貴重なリソースがあります。

洪水保険の提供者を探すには、当社のオンラインツール (英語のみ) を floodsmart.gov/find でご利用ください。

洪水保険アドボケートページ (英語のみ) を fema.gov/flood-insurance/advocate でご覧いただき、契約者および不動産所有者の公正な取り扱いについて詳しく学んでください。

洪水災害後の回復について詳しく学ぶには、fema.gov/ja/assistance/individual を訪問するか、agents.floodsmart.gov/financial-recovery-flooding で「洪水後の財務回復」小冊子をご覧ください (英語のみ)。

msc.fema.gov/fmix (英語のみ) では、洪水マッピングや保険に関する質問についてお手伝いするカスタマーケアセンターのスペシャリストが対応しています。FEMA Mapping and Insurance eXchange (FMIX、英語の略称) には、FEMA-FMIX@fema.dhs.gov まで直接ご連絡いただくか、**(877) 336-2627** にお電話ください。



FEMA



アメリカ合衆国議会は1968年に全国洪水保険制度 (NFIP、英語の略称) を創設し、洪水地域の管理を通じて将来の洪水被害を軽減するとともに、個別の代理店や保険会社を通じて市民に洪水保険を提供しています。FEMAはNFIPを管理しています。NFIP洪水保険に関する詳細については **(800) 621-3362**までお電話ください。

ビデオリレイサービス (VRS、英語の略称) 字幕付き電話サービスなどの中継サービスを利用している場合は、そのサービスの番号をFEMAに提供してください。

このリソースの最新バージョンについては、agents.floodsmart.gov/[なぜ洪水保険が必要なのですか](#)をご覧ください。

Why Do I Need Flood Insurance? Brochure – Japanese, February 2025

2025年2月 | F-002JA